

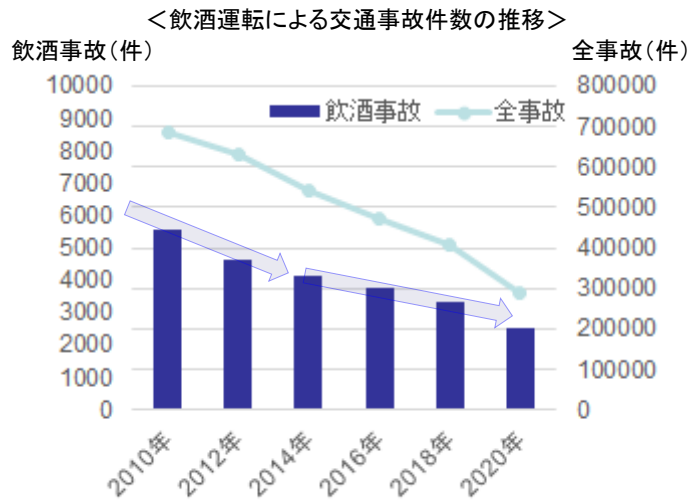
# Monthly Report

## 2021年8月号

### 特集 飲酒運転の根絶に向けて

飲酒運転による交通事故は、2006年に福岡県で幼児3名が死亡する重大事故が発生するなど大きな社会問題となりました。その後、飲酒運転の厳罰化・行政処分強化などにより、飲酒運転による交通事故は年々減少しているものの、近年では下げ止まり傾向にあり、依然として飲酒運転による悲惨な交通事故は後を絶ちません。

飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。私たち一人ひとりが、「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。



※ 警察庁Webサイト「飲酒運転による交通事故件数の推移」  
[https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/img/insyu\\_03.pdf](https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/insyu/img/insyu_03.pdf)  
 (2021.7.13閲覧)

## 1. 飲酒運転での死亡事件事例

飲酒運転は、絶対に許されません。被害者も加害者もあまりに多くのものを失います。

| 発生年月     | 概要  |
|----------|---|
| 2021年6月  | 下校中の児童らが、電柱に衝突したトラック(飲酒運転)に突っ込まれ、児童のうち2名が死亡、1名が重体、2名が重傷。(千葉県)             |
| 2021年3月  | 早朝、新聞配達中の軽自動車の運転手が、乗用車(飲酒運転)に衝突され死亡。(鹿児島県)                                |
| 2019年10月 | 夕刻、夫婦が乗った乗用車が、居眠りにより対向車線にはみ出してきた大型トラック(飲酒運転)に正面衝突され、乗用車の1名が死亡、1名が重傷。(滋賀県) |
| 2018年5月  | 早朝、自転車で通学中の高校生が、出勤中のワゴン車(飲酒運転)に後方からはねられ、死亡。(熊本県)                          |
| 2006年8月  | 夜間、親子5名が乗った乗用車が、他の乗用車(飲酒運転)に追突され、同乗の子ども3名が海に転落、死亡。(福岡県)                   |
| 2005年5月  | 早朝、ウォークラリー中の高校生らが、RV車(飲酒運転)に突っ込まれ、3名死亡、15名負傷。(宮城県)                        |



損保ジャパン

SOMPO Innovation for Wellbeing





## 2. 飲酒の影響

アルコールの影響について理解を深めましょう。

### ①体内からアルコールが抜けるまでの時間

リスクの低い飲酒の目安として1日純アルコール20グラム(=1単位)以内と示されており、1単位のアルコールが体内で分解されるには、個人差はありますが約4時間かかります。2単位では約8時間となり、3単位では約12時間かかります。

【アルコール1単位(20グラム前後)を含む酒類の量】

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
|  |  |  |  |
| 500ml   | 1合   | 350ml   | 200ml   |
| アルコール1単位が分解される時間の目安は、約4時間。  |  |   |   |

※特定非営利活動法人ASK Webサイト「アルコールが体から抜けるまでの時間」<https://www.ask.or.jp/article/8502> (2021.7.13閲覧)

### ②少量の飲酒でも危険

アルコールが認知・判断・動作に与える影響は、酒に強いかわりに関係なく、同じ飲酒量であれば同程度という検証結果もあります。しかし、酒に強い人ほど酒による酔いの自覚症状が出にくいので、酔いの程度を低く評価する傾向があります。少量の飲酒だから酔っていないだろうと思っても、アルコールによる「脳の麻痺」は始まっています。

※警察庁Webサイト 科学警察研究所交通安全研究室「低濃度のアルコールが運転操作等に与える影響に関する調査研究」<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/insyuunten/kaiken-kenkyu.pdf> (2021.7.13閲覧)

## 3. 飲酒運転を根絶しましょう

飲酒運転に対する社会的制裁は非常に大きいものです。

＜飲酒運転をしないために＞

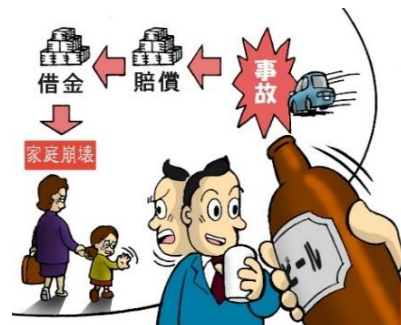
- ・翌日に運転予定がある場合は、飲酒を控えましょう。翌朝アルコールが残っていると「飲酒運転」になります。
- ・飲酒習慣のあるドライバーは、自身のアルコール依存度を把握しましょう。アルコール依存症の疑いのある方は専門医に相談しましょう。

＜飲酒運転をさせないために(職場での取り組み)＞

- ・日頃から過度の飲酒とならないよう、お互いに気を付けましょう。
- ・飲酒習慣のあるドライバーに対しては、運転前のアルコール残量チェックを行いましょう。
- ・従業員の健康管理の一環で、習慣飲酒やアルコール依存の状況を把握し、必要に応じて健康指導を行いましょう。

＜飲酒運転防止の取り組みの参考＞

日本損害保険協会のサイト「飲酒運転防止マニュアル」[https://www.sonpo.or.jp/report/publish/bousai/trf\\_0003.html](https://www.sonpo.or.jp/report/publish/bousai/trf_0003.html)



### 損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 <公式ウェブサイト> <https://www.sonpo-japan.co.jp>

### SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1  
 <公式ウェブサイト> <https://www.sonpo-rc.co.jp>

お問い合わせ先

三井物産・企業リスクプロテクション協議会  
 事務局

kyougikaiTKZHI@mitsui.com

(事務受託：三井物産インシュアランス株式会社)